

令和5年第6回定例公安委員会会議録

開催日時 令和5年3月9日（木）午後0時25分～午後2時20分

開催場所 警察本部各執務室、西部地区運転免許センター聴聞室（リモート）

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時

2 出席者

公安委員会 衣笠委員 勝部委員

警察本部 半田警察本部長 雲田警務部長 笠田首席監察官
前田生活安全部長 河本刑事部長 柴田交通部長
加藤警備部長 植木警察学校長 坂口情報通信部長
前田警務部参事官

（事務局等～畔田公安委員会補佐室長、辻室長補佐）

3 議題事項

4 報告事項

- 被疑者取調べの監督の実施状況（令和4年中）（警務部）
- 令和4年度警察庁による監察の受監結果（1）（警務部）
- 令和4年度警察庁による監察の受監結果（2）（警務部）
- シートベルト着用状況及びチャイルドシート使用状況の調査結果（交通部）

（1）被疑者取調べの監督の実施状況（令和4年中）（警務部）

警察本部から、令和4年中における被疑者取調べの監督の実施状況及び教養状況等について報告がなされた。

委員

全国で発生した監督対象行為の事例を基に教養を行っているということなので、

引き続き、適正な取調べを行うとともに監督対象行為の未然防止に努めていただきたい。

委員

被疑者が不利になるような取調べが行われ、えん罪を生んではならないので、しっかりと取調べ監督を行っていただきたい。

(2) 令和4年度警察庁による監察の受監結果(1)・(2)(警務部)

警察本部から、警察庁による監察の受監結果について報告がなされた。

委員

いずれにおいても指摘事項がなかったとのことで、引き続き、しっかりと緊張感を持って、業務を進めていただきたい。

(3) シートベルト着用状況及びチャイルドシート使用状況の調査結果(交通部)

警察本部

令和4年10月11日から12月3日までの間、全国警察及び一般社団法人日本自動車連盟が合同でシートベルト着用状況調査を実施した。本県の調査結果は、一般道路、高速道路等とも運転者及び助手席同乗者の着用率は、前年とほぼ同数で推移していた。また、後部座席同乗者の着用率は、一般道路、高速道路等とも大きく伸び、特に高速道路においては、着用率が92.4パーセントで、全国では2番目に高い結果となった。引き続き、交通事故発生時の被害軽減効果が期待できる全席シートベルト着用率100パーセントを目指して、交通指導取締りと広報啓発活動を推進していく。また、令和4年4月22日から6月30日までの間、全国警察と日本自動車連盟が合同でチャイルドシート使用状況調査を実施した。本調査は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和元年以来、3年ぶりの調査となったが、本県については、チャイルドシートの使用率が61.7パーセントで、全国平均を下回る結果となった。幼児がチャイルドシートを使用せずに乗車した形態として、シートにそのまま着座していたり、大人用シートベルトを使用して乗車するなどが見られた。今回の調査結果を踏まえ、関係機関団体と連携の上、チャイルドシートの使用義務や必要性、効果を理解するための交通安全教育の推進や交通指導取締りを強化するなどして、引き続き、正しい使用の徹底に向けた取組を推進していく。

委員

後部座席のシートベルトの着用については、県民に着用しなければいけないと

いう意識が十分浸透していると思う。

チャイルドシートの使用については、関係機関と連携しながら、効果的な広報を行っていただきたい。

委員

後部座席のシートベルト着用については、県警察及び関係機関により、しっかり広報されており、それが今回の調査結果に表れていると思う。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取5件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

被疑者取調べ監督の実施状況

4 決裁

- ・開示請求に係る審査請求の審議会への諮問
- ・少年指導委員の委嘱
- ・鳥取県道路交通法施行細則の一部改正

5 公安委員会委員間の事前検討・協議等

6 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。